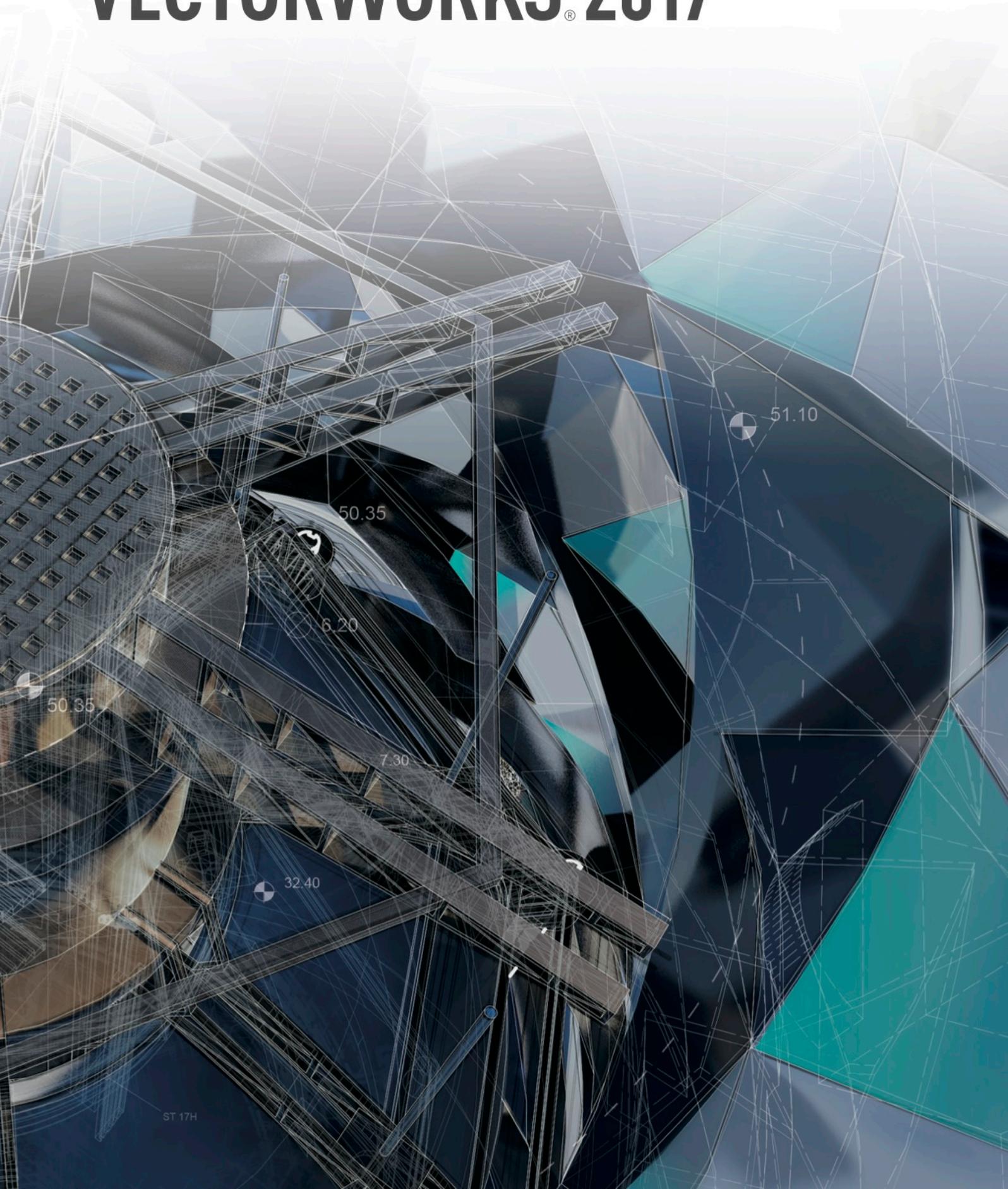


VECTORWORKS® 2017



TRANSFORM THE WORLD

DESIGN WITH
VECTORWORKS

あなたは、Vectorworks 2017と共に、比類なき建築物や室内空間、ランドスケープ、エンタテインメント空間、プロダクトを生み出していきましょう。Vectorworks 2017のデザインソリューションは、想像力を刺激し、設計からプレゼンテーションまでのこれまでのワークフローを、新たなステージへと導きます。従来から行われてきたローカルネットワーク上でのプロジェクト共有。出力された紙媒体を中心としたプレゼンテーション。これらのワークスタイルは、Vectorworks 2017が提供するインターネットやクラウドを利用した新機能によって、全く異なるものへと変化します。クラウドストレージを経由したプロジェクト共有機能は、社内でのみ可能だった協働作業を、拠点のチームメンバーや社外のコラボレータまで広げ、クラウドデータにアクセスできるモバイルアプリは、何枚もの出力された紙媒体の携帯を不要にします。さらにスマートデバイスやインターネットブラウザ上で実現する新しいバーチャルリアリティ機能によって、これまで経験したことのない体験型のプレゼンテーションを可能にし、仕事を勝ち取るための新たな術をあなたに提供します。この世界は変えることができる。Vectorworks 2017と共に。





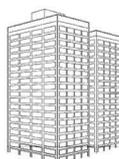
V | VECTORWORKS.
DESIGNER



D Designer(デザイナー)
全機能搭載のVectorworks 2017最上位製品



V | VECTORWORKS.
ARCHITECT



A Architect(アーキテクト)
建築設計 / ディスプレイデザイン向け製品



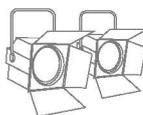
V | VECTORWORKS.
LANDMARK



L Landmark(ランドマーク)
植栽計画 / ランドスケープデザイン向け製品



V | VECTORWORKS.
SPOTLIGHT



S Spotlight(スポットライト)
ステージ/ステージライティング計画向け製品



V | VECTORWORKS.
FUNDAMENTALS



F Fundamentals(ファンダメンタルズ)
プロダクト/汎用デザイン向けベーシック製品

各ページ内の説明には、その機能を搭載している製品を、**DALSF**のプロダクトマークで表記しています。プロダクトマークの表記がない説明については、Fundamentalsを含む、全製品に搭載している機能です。各説明では、Fundamentalsを除いた製品を総称して、「デザインシリーズ」と表記しています。



[QRコードについて]

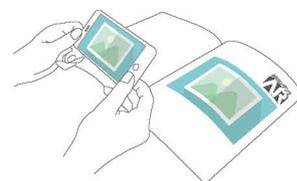
各ページ左上部に表記されたQRコードからインターネットにアクセスすると機能解説Videoを視聴できます。iPhoneやiPad、AndroidなどのスマートデバイスにQRコード読み取りアプリをダウンロード、起動の上、各ページのQRコードからインターネットにアクセスください。

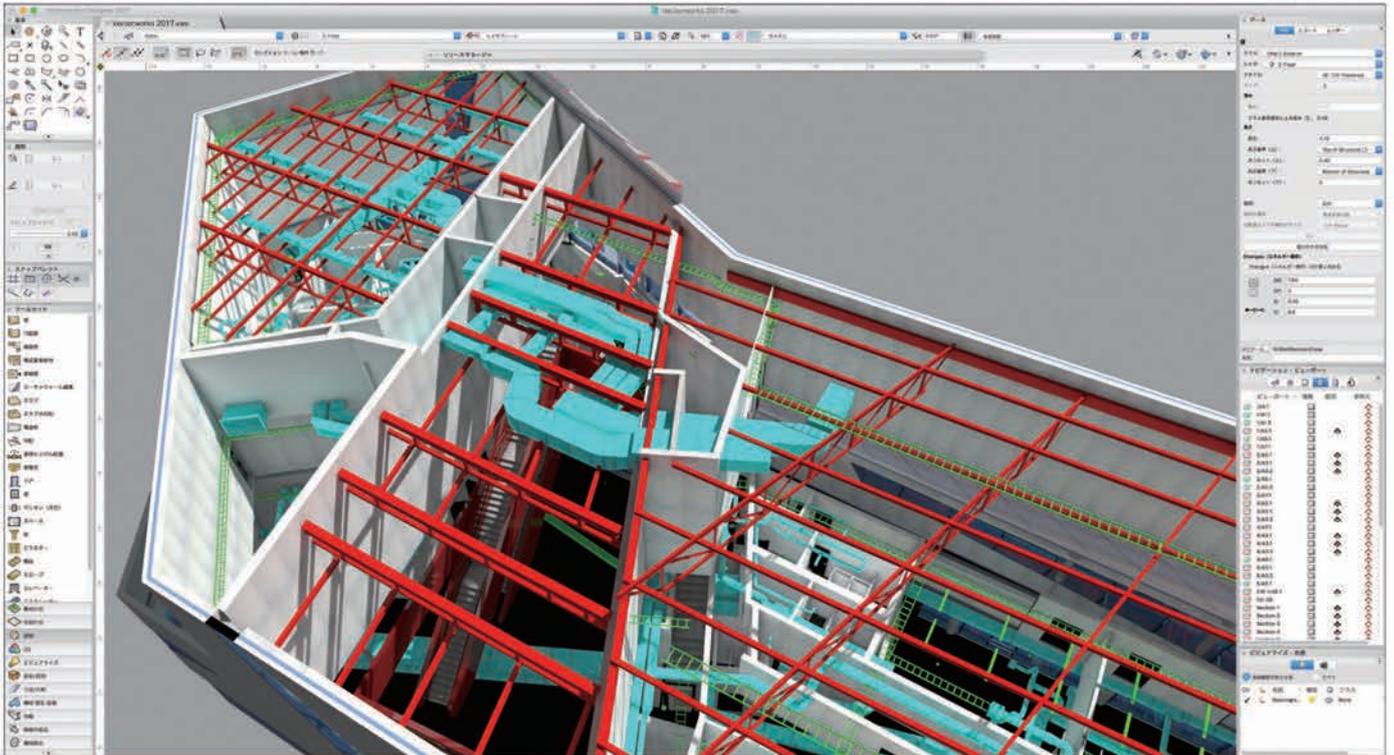


左のQRコードからアプリ「COCOAR2」をダウンロードして楽しみください。

[ARコンテンツについて]

本カタログは、紙面説明とインターネット上の機能解説Videoに加えて、「AR(拡張現実)コンテンツ」をお楽しみいただけるクロスメディアカタログです。スマートデバイスに「COCOAR2(ココアル2)」アプリをダウンロードしてARマークのあるイメージに、スマートデバイスのカメラをかざしてお楽しみください。(ARコンテンツは、2018年12月頃までお楽しみいただけます。)





デザインワークを支えるテクノロジー

NEW



Parasolid・Vectorworks Graphics Module・CineRender

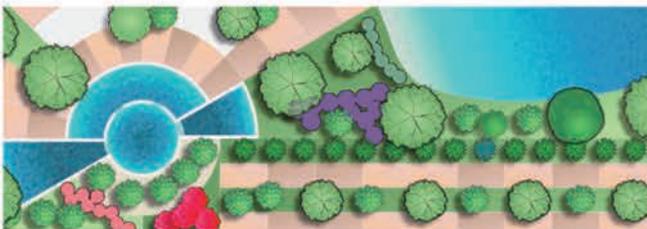
自由なデザインを可能にするため、作図エンジンには、高精度が要求される製造系CAD/CAMの多くで使用されている「Parasolidモデリングカーネル」を採用。描画エンジンには、アニメーションエフェクトやバージョン2017でより高速になったズームイン/ズームアウト、パンなどを実現する「Vectorworks Graphics Module(VGM)」を使用しています。さらに3Dレンダリングエンジンには、高速で高品質なCinema 4Dフィジカルレンダリングエンジン「CineRenderR16」を採用しています。

クリエイティブな2D作図環境

NEW

線と面の2D汎用作図機能

Vectorworks 2017は、ライン(線分)作図中心のCADではありません。面図形を多用でき、色やグラデーション、ハッチング、イメージ、不透明度が設定できるほか、面同士を貼り合わせたり、切り欠いたりできるため、豊かな2D表現が可能です。さらにバージョン2017では、ドロップシャドウ(影表現)が可能になったほか、線図形にも不透明度が個別に設定できるようになっています。



3D対応の2D作図ツールやテキスト、寸法

基本作図ツール・文字ツール・寸法ツール

「直線」や「四角形」ツールをはじめ、さまざまな基本作図ツールは、3D上にも対応しています。図形だけではなく、文字や寸法も2D、3D問わず作図でき、フォントや色、サイズなど、頻繁に使う文字設定を再利用できるよう、リソースとして登録することも可能です。

充実した図形の編集機能

NEW

図形編集ツール&コマンド

「変形や回転」、「フィレット」、「面取り」、「オフセット」などをはじめ、属性コピーを行う「アイドロップ」ツールや基点指定のコピー/移動が行える「ポイント間複製」ツール、囲った部分を削除する「消しゴム」ツール、線分や図形の等分割、整列、伸縮、配列複製、パス複製などを行える多くのコマンドも搭載しています。

圧縮形式やカラー方式、トリミングも可能なイメージファイル

NEW

イメージファイル・イメージクロップ

イメージファイルは取り込んで図面に配置するだけでなく、自由な形にトリミング(イメージクロップ)したり、面図形に属性として設定することが可能です。バージョン2017では、イメージの圧縮形式やサイズ、解像度、カラーモード(フルカラー/グレースケール/白黒)などを取り込み時だけでなく、取り込み後も設定することができます。





図形を算出対象にできる 表計算/データベース機能

NEW

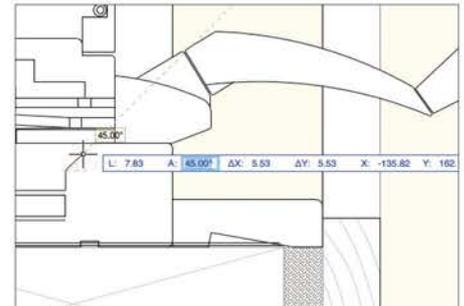
ワークシート・スプレッドシート

表計算や集計を行えるワークシートとデータベース機能では、豊富な関数が図形や面積、周長などに対応し、計算式で図面上から情報を収集、計算に利用できます。バージョン2017では、図面上に配置したワークシート図形がリサイズできるようになりました。

視線をそらさない ヘッドアップ作図環境

フローティングデータバー

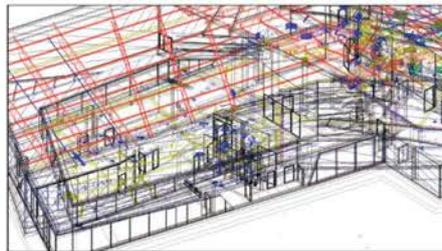
作図中に図形の座標や距離、角度などの情報を知るために視線をそらす必要はありません。カーソル近くに必要情報を表示する「フローティングデータバー」を搭載しています。「tab」キーを押して、直接図形の大きさや角度を指定入力することも可能です。



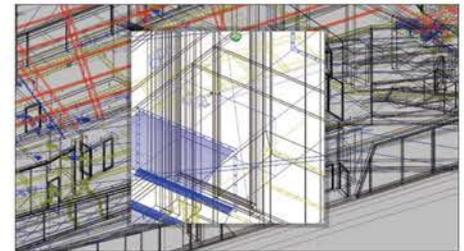
大きな図面でも 快適に作図できるルーペ機能

スナップルーペ機能

複雑な図面や広大な図面の中からでも、特定の場所を瞬時に見るために「スナップルーペ」機能を搭載しています。「Z」キーを押すだけで、カーソルを中心とした一定範囲を一時的にズームして、目的の場所をすぐに見つけ出せます。



通常表示



「Z」キーによるズーム

隠れた図形やモデルにも スナップを可能にする透過機能

X線セレクト機能

図形が重なりあった図面やレンダリングされた3Dモデルを一時的に透過させる機能が「X線セレクト」です。「B」キーを押すだけで2Dでは面に隠れた下部の図形を見ることができ、3Dではソリッド図形を透過できるため、選択や移動、編集に役立ちます。

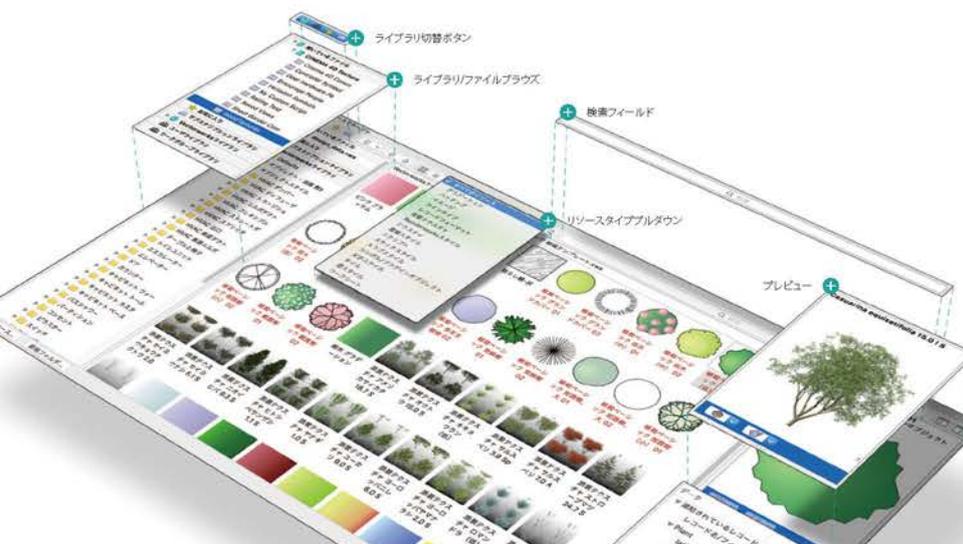


オンラインリソースも利用できる 新しいリソース管理

NEW

リソースマネージャ

シンボル図形やハッチングをはじめ、壁スタイルやテクスチャなどのリソース管理は、新しい「リソースマネージャ」機能によって、飛躍的に使いやすくなりました。さまざまなフィルタリングや検索、表示機能を備えるだけでなく、従来のローカルリソース管理に加え、使用可能なオンライン上のリソースにもアクセスでき、直接ダウンロードして図面上に取り込めます。

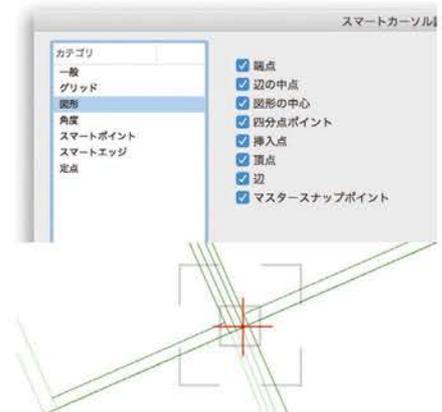


複雑な図面の中でも 確実なスナップをサポート

NEW

マスタースナップポイント機能

線分が平行に何本も作図されている図面や複数の端点が集中するエリアから、正確な点にスナップさせることは困難です。新機能の「マスタースナップポイント」では、優先度の高いポイントを優先してスナップし、確実な選択をサポートします。





さらに自由になった サーフェスマデリング

NEW

サブディビジョンモデリング機能

自由形状のサーフェスマデリングを可能にする「サブディビジョン」機能は、さらに進化。バージョン2017では、対向するモデルを生成するミラーモデリングモードや新しい面の押し出し機能、開いた辺同士を接続するブリッジモードが追加されました。さらに既存のメッシュやソリッドモデルをサブディビジョン図形に変換する機能も追加されました。



使いやすい3Dの 視点コントロール

NEW

ウォークスルーツール・フライオーバーツール

3D空間の移動機能「ウォークスルー」ツールでは、マウス操作による移動に加え、キーボード操作での移動を可能にする「ゲーマーモード」が搭載されています。さらに3D平面を自由に回転させる「フライオーバー」ツールでは、バージョン2017で新たな回転軸のオプションを追加。より自然で意図した3D平面の回転が可能になりました。

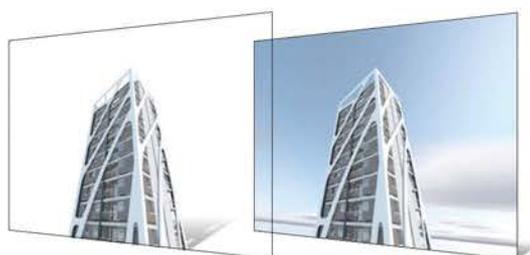


幅広いデザインデータの ファイル互換

NEW

DXF/DWG取り出し/取り込み・OBJ(3D)取り出し/イメージ取り出し

ファイル互換は、バージョン2017でさらに拡張されています。DXF、DWGでは、同形式内のテキスト取り込みに対応。取り出しでは、カスタマイズされたビューポートの表示を維持するオプションが追加されました。多くの3Dソフトで利用されているOBJでは、取り込みに加えて、取り出しも可能になり、イメージ取り出しでは、アルファチャンネルに対応し、背景のないPNGやTIFF、Photoshop形式などの取り出しができます。



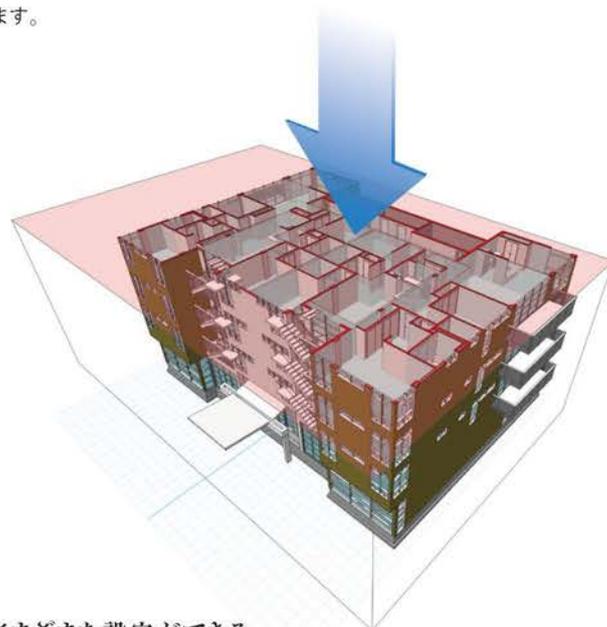
アルファチャンネル ON

アルファチャンネル OFF

前後左右上下から可能な 3Dモデルの断面表示

クリップキューブ

CTスキャンにかけたように3Dモデルを任意の位置でカット表示する「クリップキューブ」を使用すれば、カットする面となる立方体に囲われた3Dモデルを前後左右上下、どの面からでも断面を見ることができます。



さまざまな設定ができる プリントオプション

プリント

印刷にも、豊富なオプションが搭載されています。「プリント」ダイアログには、印刷解像度はもちろん、グレイ表示しているレイヤとクラスの出力濃度の指定が可能。ビューポートの更新やワークシートの再計算など、印刷時に忘れがちな更新を行うオプションも用意されています。

一括取り出しなどを可能にする パブリッシュ出力

パブリッシュ

「パブリッシュ」コマンドを使用すると複数のシートレイヤ、または登録画面を一括でDWG、DXF、DWFに取り出すことができます。さらにデザインシリーズでは、PDFやイメージ取り出し、一括印刷も可能です。

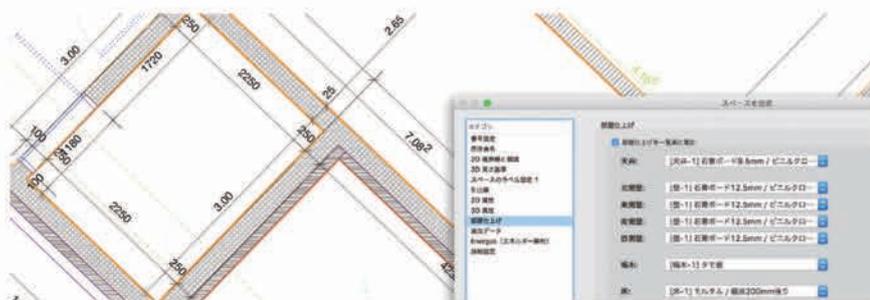
ARCHITECTURE

& DISPLAY DESIGN

BIMにも対応した 空間計画機能

スペースツール・空間計画機能 **DA**

2D図形や作図した壁から、一括で「スペース」(空間定義)を作成でき、設定には、日本仕様の天井/壁/床/幅木の部屋仕上げ定義も搭載しています。作成されたスペースはワークシートに集計、面積表として活用することができ、日本の建築設計では一般的な躯体芯での求積も可能です。

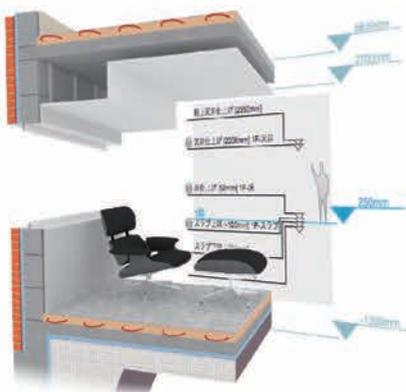


柔軟な建物フロアの 階高管理機能

NEW

ストーリー **DA**

オーガナイザに搭載されている「ストーリー」では、建物の階高構造を管理できます。各階フロアやさまざまなレベル高を設定でき、壁やスラブ、柱などの高さをストーリーのレベル高に連動させて、高さを拘束することが可能です。バージョン2017では、3Dシンボルもストーリーに対応。挿入時にはレイヤの高さに加えて、ストーリーのレベル高に配置され、レベル高が変更された場合には、建築オブジェクト同様、レベル高と連動して移動します。



[ストーリーの主な機能]

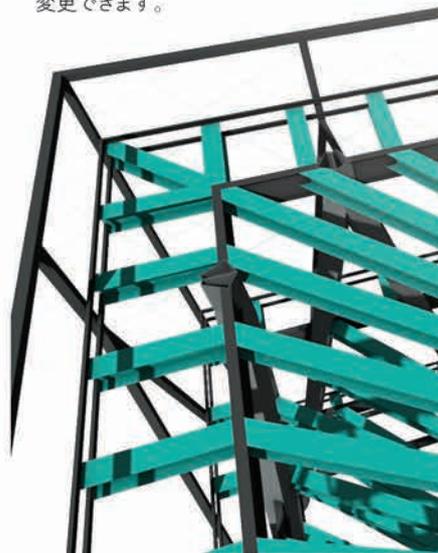
- 各階の高さ設定
- 床/天井仕上げなどのレベルの高さ設定
- 壁構成要素を含む建築オブジェクトのレベル拘束
- 高さを変更した時の建築オブジェクトを自動追従

さまざまな建材を設定でき、 IFCにも対応する構造作図

NEW

構造材ツール **DA**

バージョン2017から搭載された「構造材」ツールによって、木造から鉄骨の梁など、複雑な構造計画作図が可能になりました。さまざまな材質や形状の構造材を作図でき、作図後も素材や形状をはじめとする多くの情報を変更できます。



構造素材を設定できる 柱/ピラスター作図機能

柱ツール・ピラスターツール **DA**

「柱」と「ピラスター」ツールでは、構造上の材質を木製やコンクリート、スチールから指定でき、細かな各種数値情報のほか、構造断面をH鋼やZ鋼などから指定して作成できます。

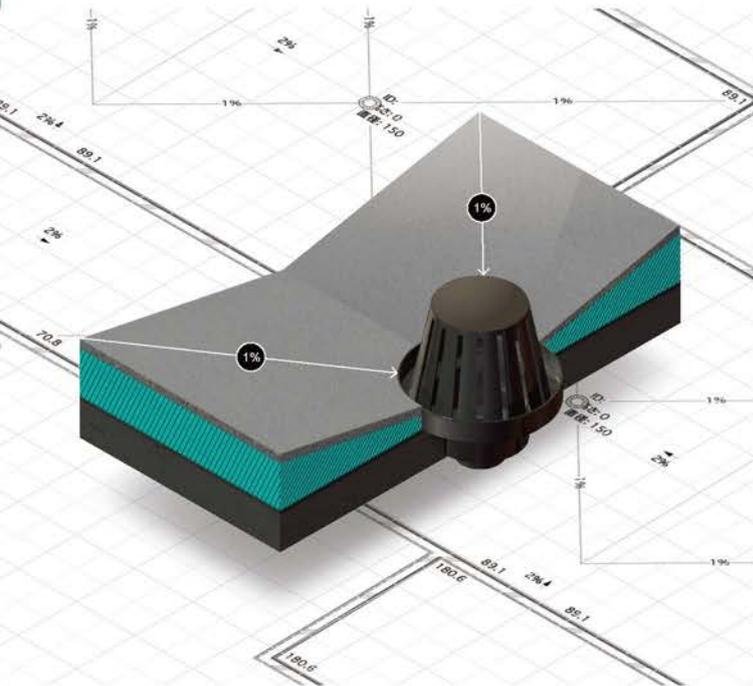


スロープ表現や排水勾配も表現できる スラブ作図機能

NEW

スラブツール・スラブ水勾配ツール DALS

「スラブ」ツールでは、壁で囲まれた内側をクリックするだけでスラブ作成が可能です。スラブ内部の構成要素を定義でき、指定された部分に収まる根太の作成も可能。日本仕様のスラブスタイル24種類も搭載しています。バージョン2017では、建物の屋上や土間、テラスなどの床面で必要となる排水勾配を表現するために「スラブ水勾配」ツールが新搭載され、ドレンに向かった勾配形状をスラブに生成できます。



構成要素を含んだ 屋根作成機能

屋根面・屋根作成 DALS

構造用合板や断熱材、垂木などの屋根の構成要素を含んだ屋根オブジェクトを、2D図形から変換して作成できます。構成要素は他の建築部材構成要素と同様に、スタイルとしてリソース管理でき、他の図面に活用することもできます。



詳細で柔軟な階段と 手摺/フェンス作成機能

NEW

階段ツール・手摺/フェンストツール DAL

「階段」ツールでは、L字、O字、U字、螺旋などの基本形状から、踏面や蹴込みなどの詳細な寸法を設定して階段を作成できます。バージョン2017では、階段作成時に矛盾する値が生じた場合に、解決策が表示されるようになりました。さらに新しく「手摺/フェンス」ツールが搭載され、直線や曲線、または傾斜のある3D形状の手摺やフェンスを作成できます。

詳細に設定でき、簡単に作図できる 壁とカーテンウォール

壁ツール・カーテンウォール機能 DALS

「壁」ツールは、Vectorworks 2017の全製品に搭載されていますが、デザインシリーズでは、作成した構成要素(コンクリートや合板、石膏ボードなど)を含む壁定義を壁スタイルとしてリソース登録し、別の壁や図面で活用したり、詳細設定できるカーテンウォールの作図も可能です。作図後のカーテンウォールは、フレームやパネルなどの個別のパーツを「カーテンウォール編集」ツールで編集することもできます。

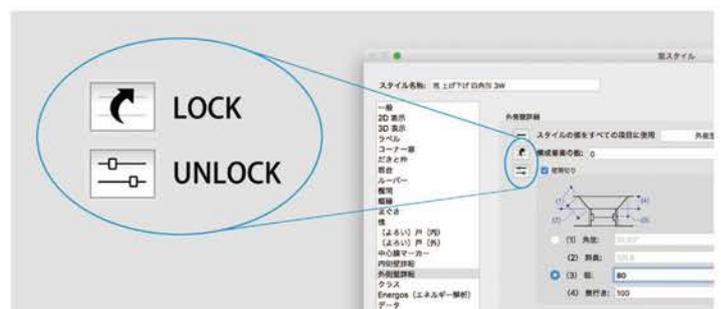


詳細で柔軟な ドアと窓作成機能

NEW

ドアツール・窓ツール DALS

「ドア」ツールでは、幅が不均等な両開きドアやシンボルを使用したドアを作成でき、「窓」ツールでは、コーナー窓や複数の窓パーツを組み合わせた窓などが作成可能です。バージョン2017では、新たにオブジェクトスタイル機能を搭載。例えば、幅と高さだけは、個別に変更でき、他のパラメータ値は変更できないようにした窓スタイル、またはドアスタイルを登録できます。

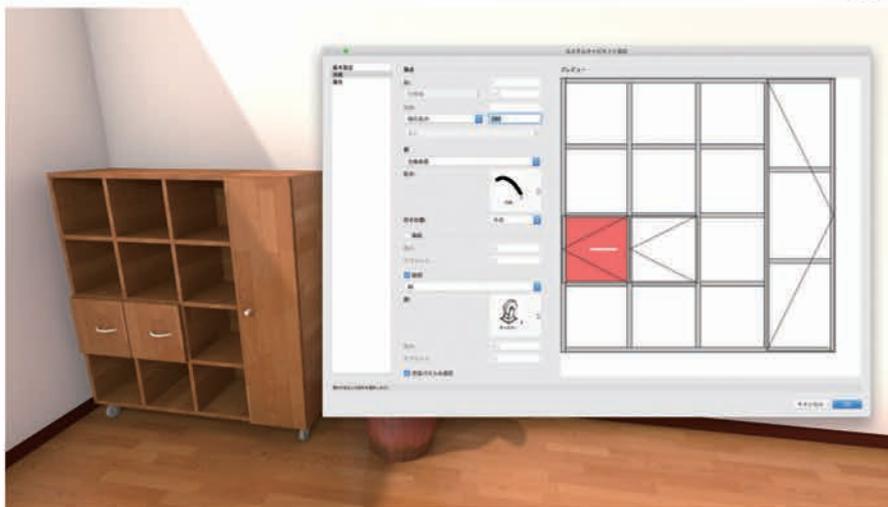


陳列什器から住宅用食器棚まで、 自由度の高いキャビネット

NEW

カスタムキャビネットツール

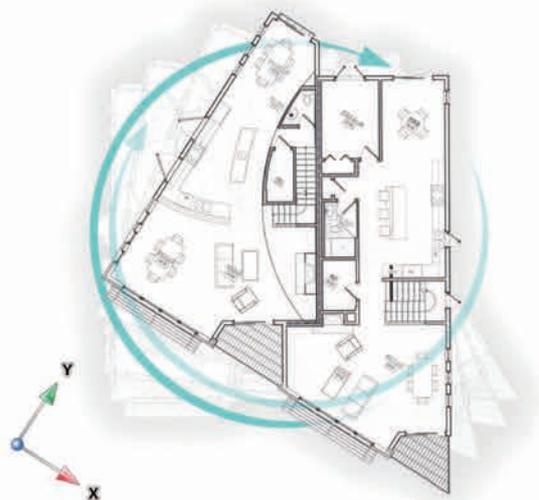
バージョン2017では、新たに「カスタムキャビネット」ツールが搭載されました。サイズはもちろん仕切り板、棚、幕板、脚部などのプレビューを見ながらカスタマイズでき、店舗用の陳列什器から、住宅用の衣装棚、食器棚、壁面収納など、自由に作成できます。



あらゆる角度での作図を可能にする 2D平面回転機能

平面を回転 DALS

設計図面は、必ずしも水平垂直で作図されているものではありません。2D平面の回転機能によって、2Dビューの回転を可能にします。数値による角度指定、またはマウス操作による回転軸の指定によって、画面を回転できます。



作図した壁面から一括で 寸法生成を行う採寸機能

外壁を採寸 DALS

デザインレイヤ上の壁オブジェクトを認識して、寸法線を一括生成できます。外壁のエッジ部分、もしくは中心を基準に採寸でき、窓やドアも中心線、または開口部の端で採寸し、寸法線図形を一括生成します。

レイヤごとに分かれた3Dモデルの 多重表示機能

統合ビュー

各レイヤに分かれた3Dモデルを重ねて表示できる「統合ビュー」コマンドによって、全体像を把握しながら、編集が可能です。他のレイヤの表示コマンドとレンダリングを組み合わせることで、アクティブレイヤ以外のモデルを半透明表示でき、プレゼンテーションの場でも活躍します。

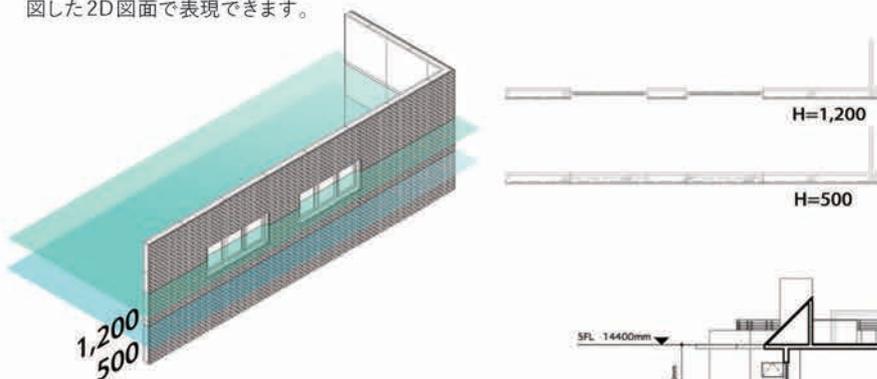


建築オブジェクトの2D表現に役立つ 切断面設定

NEW

デザインレイヤ切断面機能 DA

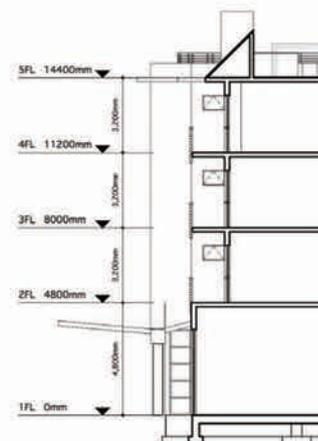
バージョン2017では、3D建築オブジェクトを2Dでどのように表現するかを、デザインレイヤごとに高さ指定できるようになりました。壁に挿入された図形、壁、カーテンウォール、窓など、意図した2D図面で表現できます。



建物や土地の高さ表記を サポートするレベル表現

レベル(横断面)ツール DAL

建物や土地の高さを表現する「レベル(横断面)」ツールでは、日本の建築設計にも対応した表現が可能です。引出線の位置をマーカーの下部に設定できるオプションによって、タイトルや高さ表示も、引出線、またはマーカーを基準に上下に表現できます。





室内展開図を一括生成する 画期的なサポート機能

NEW

室内展開図ビューポートを作成 **DALS**

バージョン2017で新搭載された「室内展開図ビューポートを作成」コマンドによって、壁で仕切られた室内の4面展開図を一度に作成できるようになりました。これまで部屋数の多い図面では、特に手数を必要とした展開図を4面同時に生成できるため、作業効率が格段に向上します。



3Dモデルから 一括生成する投影図機能

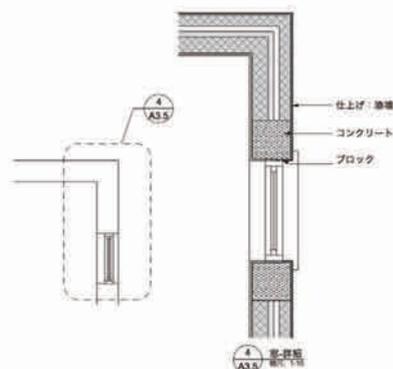
投影図ビューポートを作成 **DALS**

3Dモデルから正面や側面、上下面、等角投影など、7種類もの複数のビューポートを一度に作成できます。第一角法と第三角法や縮尺も設定でき、必要な面を一括でシートレイヤに生成します。

ビューポートから作成できる 詳細図機能

詳細ビューポートを作成 **DALS**

平面図や断面図として作成されたビューポートから、詳細図用のビューポートを作成することができます。作成された「詳細ビューポート」は、生成元ビューポートのマーカとリンクしているため、図面全体から直接、詳細ビューポートに移動することが可能です。

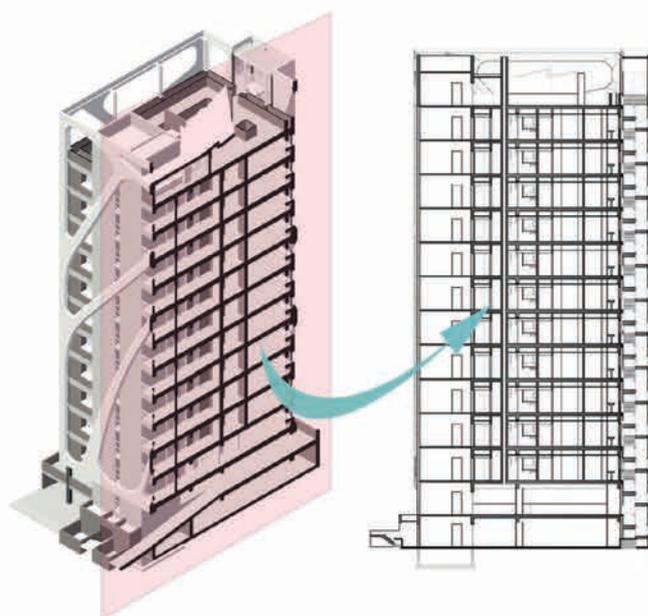
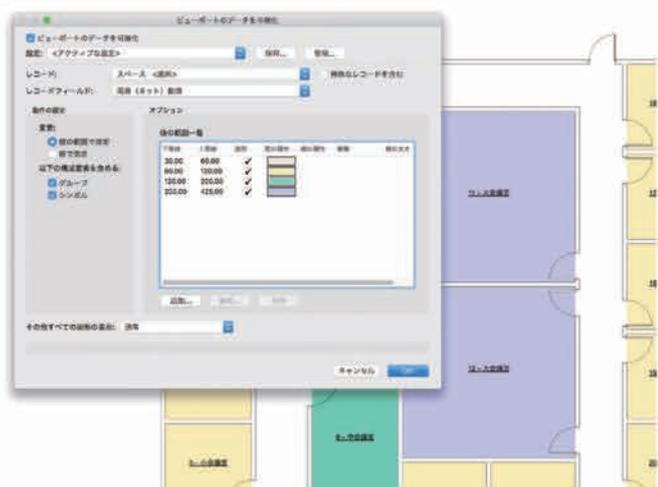


データベースと連動した ビューポートのデータ可視化機能

NEW

データの可視化機能 **DALS**

バージョン2017で新搭載されたデータの可視化機能によって、見えなかったデータの可視化が可能になりました。図形に連結されたレコードフォーマットデータに基づいて、シートレイヤビューポート内の図形属性を制御し、現況把握や調査結果に基づいた分析が可能になりました。



任意の切断ラインから生成できる 断面図機能

断面ビューポートを作成・クリップキューブ断面図生成機能 **DALS**

建築モデルから任意の断面ラインで断面図(断面ビューポート)を生成することが可能です。さらに、クリップキューブの横断面や縦断面から断面ビューポートを生成できるため、水平断面図や天井伏図作成などにも役立ちます。

強力な提案力 VRプレゼンテーション



NEW

Webビュー(3D)取り出し **DALS**

新たな世界を魅せてくれるバーチャルリアリティ (VR) はこれまでにはなかった提案力を持っています。バージョン2017に新搭載された「Webビュー(3D)取り出し」は、2週間、データ保存されるVectorworksサーバ、またはローカルにVRファイルを生成。インターネットブラウザでの閲覧はもちろん、iPhoneやiPad、Androidなどのスマートデバイス(一眼モノラルビュー)、スマートデバイスをセットしたVRゴーグル(二眼ステレオビュー)で、バーチャルリアリティの世界を体験できます。新たな提案手法として、あなたの力になり、クライアントに想いを伝える新体験を提供します。

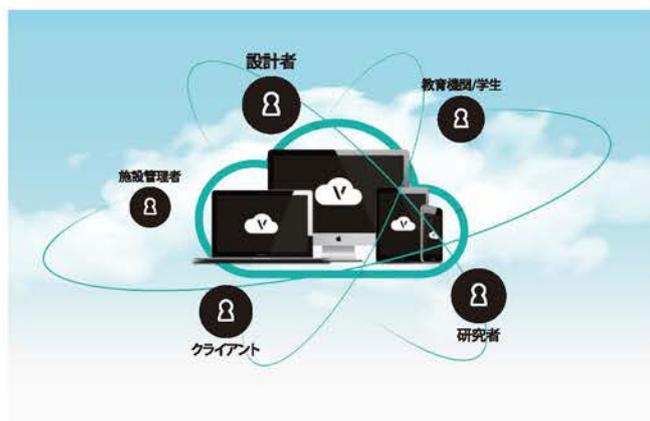


誰でも利用可能な クラウドサービス

NEW

Vectorworks Cloud Services

デザインデータを外出先で閲覧したり、シェアできる「Vectorworks Cloud Services」が誰でも利用できるようになりました。「Cloud」メニューからアクセスでき、2GBの領域(Vectorworks Service Select 契約者は20GB)を利用できます。アップロードしたデザインデータは、関係者と共有(閲覧、3Dモデルのみ閲覧、閲覧+ダウンロード)することが可能。モバイルアプリの「Vectorworks Nomad」から図面や3Dモデルを閲覧することも可能です。



遠隔地のチームメンバーとも 同時作図を可能にする共有機能

NEW

プロジェクト共有 **DALS**

LAN上での同時作図を実現した「プロジェクト共有」機能が、バージョン2017では、さまざまなクラウドストレージに対応しました。広く利用されているDropbox、OneDrive、Google Drive、そしてセキュリティ性能が高く、日本国内の企業でも導入が進むビジネスクラウドストレージboxに対応し、従来では不可能だった社外コラボレータや遠隔地のチームメンバーとの同時作図、協働作業を可能にします。

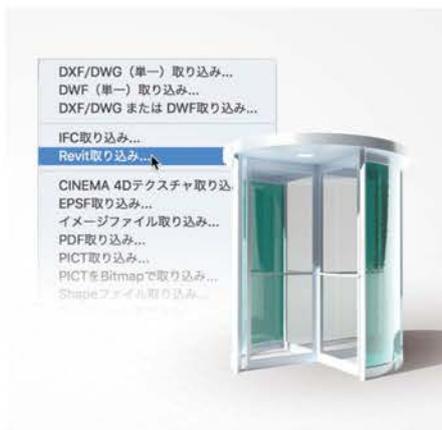


幅広い建築系ソフトウェアとの ファイル互換

NEW

Revit取り込み・IFC4取り込み/取り出し・ BCFマネージャ **DALS**

全製品で利用できるDXF/DWGに加えて、デザインシリーズでは、新たに建築CAD-Revitのファイル(.rvtまたは.rfa)取り込み、最新のBIMデータ互換規格-IFC4の取り込み/取り出しをサポートしました。さらに、建築図面の不整合をチェックできるBIM Collaboration Format機能、「BCFマネージャ」では、修正/指摘情報を作成/編集できるようになりました。



汎用性、可用性の高い PDF互換機能

NEW

PDF取り込み/取り出し・ 3D-PDF取り出し **DALS**

広く普及しているPDFも2Dと3Dをサポートしています。2D-PDF取り込みでは、ファイル内図形にスナップができ、取り出しではデザインレイヤ、またはクラスをPDFレイヤとして取り出せ、バージョン2017では、取り出し図形のラスタライズ(画像化)に対応しました。さらに3Dモデルを3D-PDFとして取り出せ、3Dモデルをさまざまな関係者に自由に閲覧させることが可能です。



ポイント制御も可能な 点群データ互換機能

NEW

点群取り込み DALS

「点群取り込み」コマンドによって、3Dレーザースキャナで計測した点群データや市販されている点群データを活用できます。バージョン2017では、取り込みポイント数の調整や取り込み後の部分的な表示/非表示が可能になりました。

レンダリングの試作検討にも 利用できるビューポート機能

ビューポートレンダリング機能

シートレイヤに作成したビューポートでレンダリングを行うことができます。ビューポートを複製して、異なる設定でレンダリングしたり、ビューポートレンダリング結果をそのままファイルに保存することもできるため、さまざまなビジュアライズ検討も可能です。

レンダリング待ち時間からの 解放を可能にするサポート機能

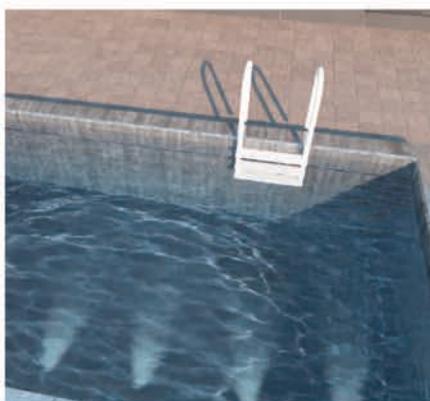
バックグラウンドレンダリング機能・ クラウドレンダリング機能

ビューポートレンダリングやピットマップレンダリングでは、レンダリングを行いながら、同時に他の作業が可能です。さらに「Vectorworks Service Select」の契約者は、クラウドサービス「Vectorworks Cloud Services」を使って、ビューポートレンダリングをクラウド上で行うことも可能です。

さまざまな光源オブジェクトと 光源効果

光源ツール・コースティクスフォトン機能

「光源」ツールから平行光源、点光源、スポット光源、およびIESファイルを使ったカスタム光源が作成でき、ガラスや水などの透明な屈折素材、反射テクスチャを用いた「コースティクス」(集光模様)効果を表現できます。さらに線図形や面図形を光源化するコマンドも搭載しています。



クリエイティブな表現を実現する レンダリング機能

OpenGL/陰線/ソリッド/シェイド/Renderworks/アートレンダリング機能

Vectorworks 2017全製品にて、基本となる「OpenGLレンダリング」をはじめ、陰線表示の有無を加味した「陰線レンダリング」、立体感のある「ソリッド/シェイドレンダリング」、写真のようなフォトリアリスティックを再現する「Renderworksレンダリング」、セル画や鉛筆、筆などの「アートレンダリング」が可能です。



光の拡散環境を再現する 放射光機能

背景放射光

「背景放射光」コマンドでは、空間全体の明るさや間接光の反射回数(なし/2回/3回/4回/8回)、放射やホワイトバランスを設定でき、野外、室内などの用途に合わせた光の拡散環境をより簡単に設定できます。



パノラマ背景や人工天候も再現可能な背景機能

背景テクスチャ機能

背景は、色やイメージファイルなどの基本的な背景から、360度を囲い込むHDR、EXRやJPEG、PNGファイルのパノラマ背景、人工的な天候(快晴/主に晴れ/一部晴れ/主に曇り/曇り)を再現できるフィジカルスカイ背景などが設定できます。



より自然な影表現、より立体感のある影表現

アンビエントオクルージョン機能・ソフトシャドウ機能

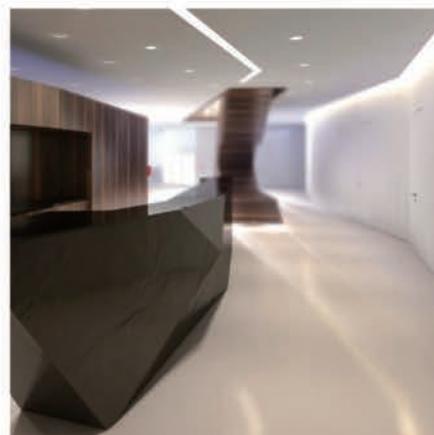
背景テクスチャの「アンビエントオクルージョン」(環境閉塞)機能を使用すると手軽にリアルな影を作りだせ、光源の微調整やレンダリングの品質調整の手間から解放されます。さらに、光源オブジェクトの「ソフトシャドウ」機能によって、より自然な影の減衰表現が可能です。



実物のようなカメラ設定、多彩なカメラエフェクト

レンダーカメラツール・カメラエフェクト機能

「レンダーカメラ」ツールを使用すると、実際のカメラと同じような視点高、パン、視心中心角、焦点距離のほか、アスペクト比などが設定できます。さらに一か所に焦点をあて、他の空間をぼかす被写界深度、露出、ブルーミング、ケラレ、色収差などの多彩なエフェクトが再現できます。



日時に連動した太陽光表現

太陽光設定ツール **SUN**

都道府県庁所在地が標準で設定されている「太陽光設定」ツールによって、日時に伴った日照状態を再現でき、朝、昼、夕方、夜などの時間帯シーンやフィジカルスカイ機能と連動したレンダリング結果を得ることが可能です。さらにソーラーアニメーションを作成することも可能です。

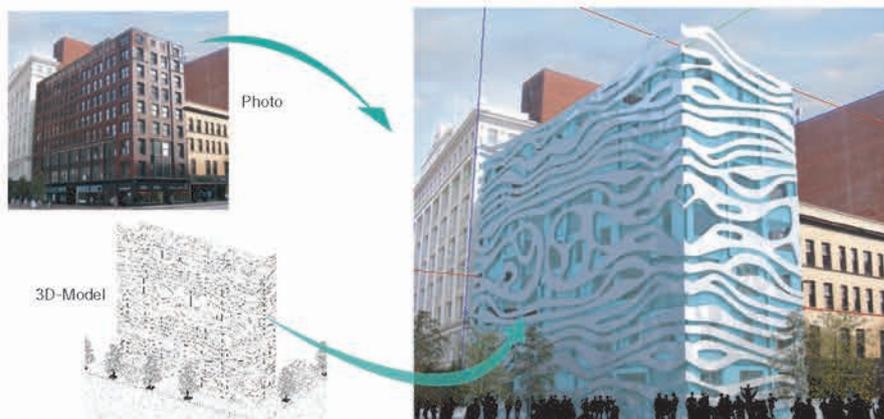


現地写真、現状写真と3Dモデルとの合成機能

NEW

Camera Match 機能

バージョン2017で新搭載された「Camera Match」機能は、現場で撮影した写真を3Dモデルと合成し、リアルなイメージ制作を可能にする画期的な機能です。ビューポート内の写真上に消失線を重ね合わせることで、3Dモデルの透視投影表示を写真と一致させます。さらに、擬似影の作成やマスクングによって、よりリアルなパースイメージを作成できます。





平面上で凹凸を表現する テクスチャエフェクト機能

芝生シェーダ・ディスプレイメントマッピング機能

テクスチャ設定には、「レンガ」や「芝生」の色属性を搭載しています。「芝生」シェーダでは、テクスチャだけで芝生の凹凸を表現。芝の長さや密度、曲がりや縮れなども設定できます。パンプ属性には、イメージなどに基いた凹凸表現ができる「ディスプレイメントマッピング」機能を搭載。リアルな石やレンガ、水面、近隣建物を表現できます。



多彩な表現を可能にする テクスチャ機能

NEW

テクスチャ機能

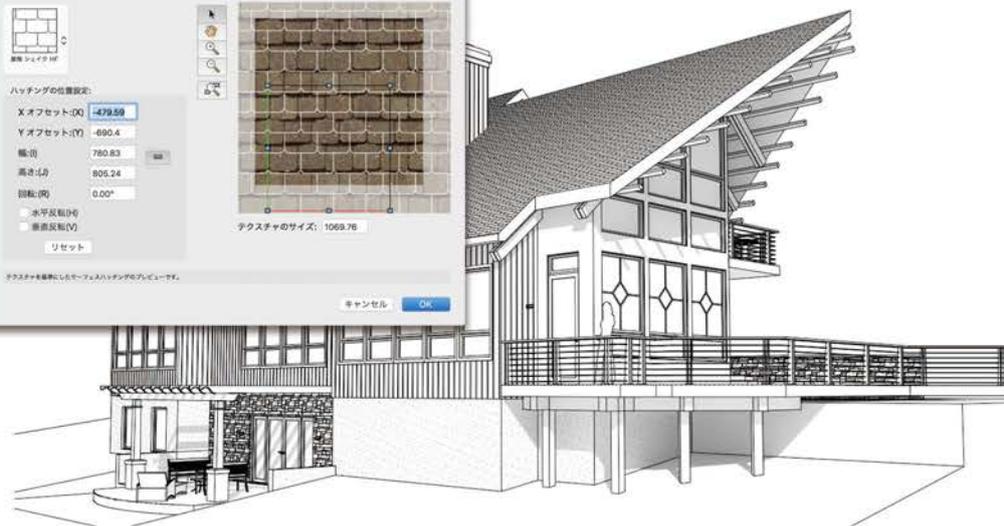
テクスチャは、色（イメージやカラーなど）や反射、透明、パンプなどのシェーダ属性から作成できます。標準リソースとしても木や石、ガラス、外壁材、水などの豊富なテクスチャを搭載しており、バージョン2017では、新たにCinema 4Dで作成された高品位テクスチャファイルを直接取り込んで、3Dモデルにマッピングできるようになりました。



緻密な3D線画を表現できる 3Dハッチング機能

サーフェスハッチング機能

3Dモデル上にハッチングを表現できます。テクスチャ編集ダイアログで任意のハッチングを設定でき、陰線消去レンダリングで3D線画のように表現できます。また、標準で搭載するテクスチャリソースには、それぞれのテクスチャイメージにマッチしたハッチングデータが付属しています。



プロフェッショナルCGソフトウェア、 Cinema 4Dとの連携

NEW

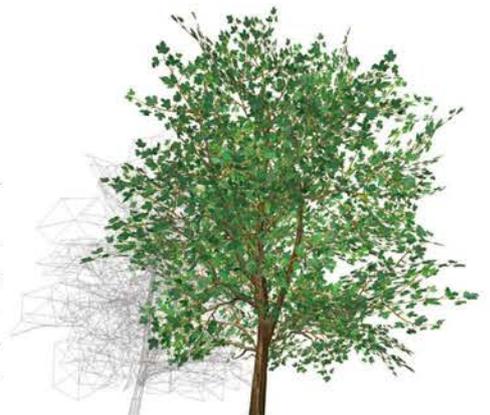
CINEMA 4Dへ送信/取り出し機能

プロフェッショナルCGソフトウェアのCinema 4Dとの連携が可能です。「CINEMA 4Dへ送信」コマンドでは、コンピューター内のCinema 4D(v12以上)を自動起動させ、3Dモデルを渡すことができ、Vectorworksでのモデル更新にも対応します。「CINEMA 4D(3D)取り出し」では、バージョン2017から、追加されたダイアログ経由で取り出せ、レンダリングの種類や取り出すオブジェクト、テクスチャ、光源などを設定して取り出せます。

幹や枝、葉まで再現する 3D植栽オブジェクト

VBビジュアルプラントツール

「VBビジュアルプラント」ツールによってリアルな樹木を再現します。3種類（ディフェンバキア鉢/カエデ/イロハモミジ）を標準搭載し、添葉よりも高精度で葉の一枚一枚も表現されます。パラメータを変更し、春、夏、秋、冬の季節表現も可能です。



LANDSCAPE & URBAN PLANNING

さまざまな表現方法を持つ 地形モデル機能

NEW

地形モデル機能 DALL

測量データや等高線図形に基づいた正確な地形モデル (DTM) を作成できます。TIN データやメッシュ、等高線に表示を変更でき、航空写真をマッピングしてリアルな地形モデルを表現することも可能です。バージョン2017では、地形モデルの最低部の高さを指定できるようになりました。



幅広いファイルに対応する GIS (地理情報システム) 機能

NEW

ジオリファレンス機能 DALL

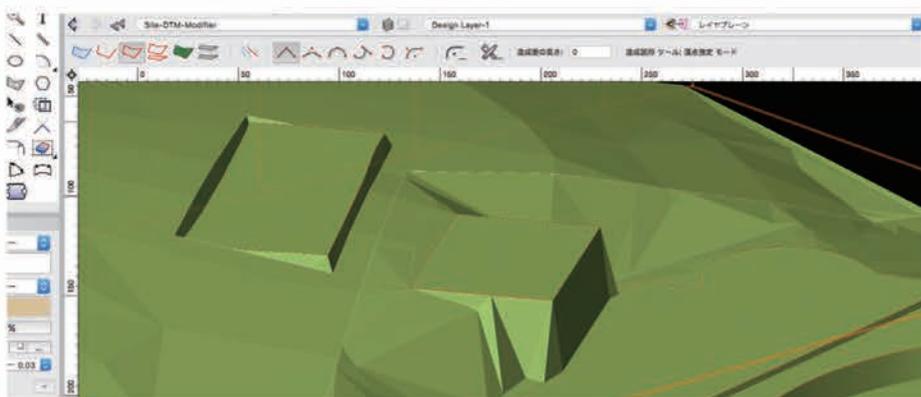
都市デザインやランドスケーププロジェクトをサポートするGIS機能を搭載しています。Shapeファイルとイメージファイルを取り込み、地図に配置してデータベース情報と連携させることができます。バージョン2017では、対応ファイルが拡張され、ECW、JP2、NTV2をサポートしました。



地形モデル上で建築予定地などの 整地を再現する造成機能

造成ツール DALL

現況地形となる地形モデルには、「造成図形」ツールを使って造成、計画地形を作成できます。法面、輪郭、造成面、土留め付き造成面などが設定でき、さらに現況地形とのボリューム差から切土/盛土の容量を算出することも可能です。



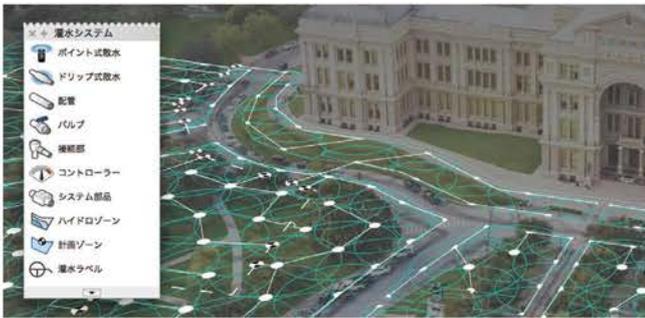


灌水を配慮したデザインを 助ける灌水設備計画機能

NEW

灌水システム機能 DL

バージョン2017には、敷地における灌水計画を立てるためのツールセットが追加されました。水圧や流量、散水半径などが設定できるポイント式、またはドリップ式の散水器具、配管、バルブ、接続部などの各種ツールで作図でき、ワークシートとも連携して利用水量を計算することも可能です。



森林や植栽表現を エリア指定できるサポート機能

NEW

ランドスケープエリアツール DL

広範囲な森林や植栽のエリアを表現することが可能です。ラベル情報や植栽本数の割り出し基準を設定でき、2D、または3D植栽、テキストなども設定できます。バージョン2017では、3D植栽のグループをより自然に見せるランダムオプションが追加されました。



さまざまな形状を表現できる 道路作成機能

道路ツールセット

ガードレールツールセット DL

造成図形として地形モデルにも反映される道路を作図することが可能です。6種類のツールから直線道路のほか、カーブや出口/合流地点、ラウンドアバウト、Uターンスペースなど複雑な道路を再現できます。道路に合わせて、直線、または曲線のガードレールを作図できるツールセットも搭載されています。

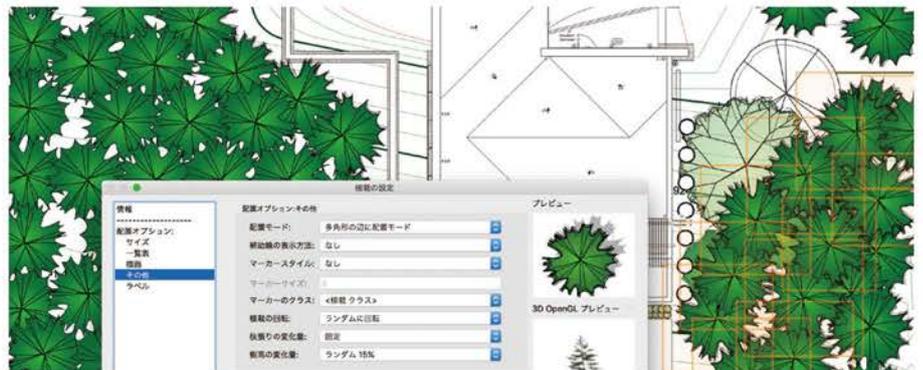


庭園から広大な公園計画まで、 幅広い範囲で活躍する植栽計画機能

NEW

植栽ツール DL

あらゆる植栽計画に対応する「植栽」ツールが搭載されています。植物の種類やサイズ、枝張りや配置間隔、コストや参考情報などを設定でき、1本から、線や面指定での一括配置も可能です。バージョン2017では、さまざまな配置モードや生け垣を再現するためのオプションが追加されました。



四季などの多彩な表現を加味した 豊富な植栽ライブラリ

NEW

植栽イメージ・植栽添景ライブラリ DL

2Dでも3Dでも、植栽表現に困ることはありません。四季表現をはじめ、前/上/横の角度、写実的なイメージ、水彩レタッチ風、カラー/モノクロなど、あらゆる状況表現に対応できる植栽イメージや3Dパースでも活躍する添景データが多数、付属しています。バージョン2017には、Proven Winnersの植栽イメージが多数追加されました。



柔軟な表現が可能な、 舗装や敷石作成機能

舗床ツール・舗床/敷石ハッチングライブラリ DL

舗装された地面の作図を行える「舗床」ツールによって、作図と同時にハッチングされた2Dの舗床を表現できます。3Dビューにも対応しており、傾斜のある舗床も作図できます。さらに造園計画向けの舗床/敷石コンテンツとして多彩な2Dハッチングが付属しています。



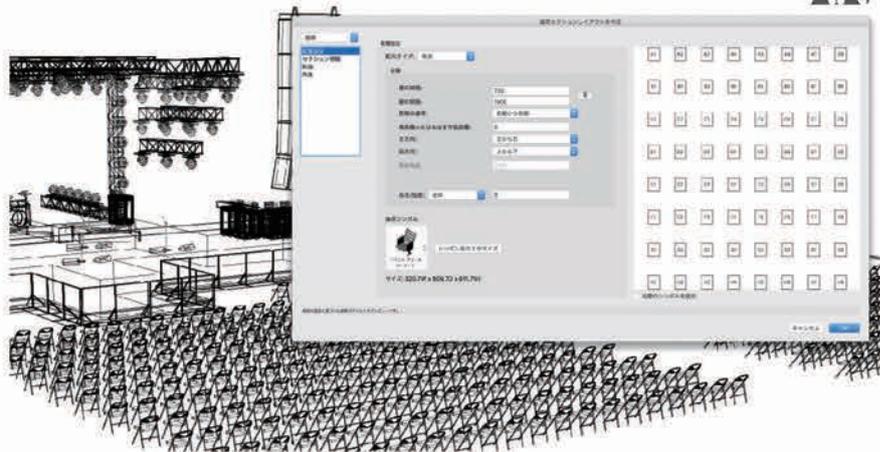
STAGE LIGHTING & STAGE PLANNING

多くの座席が必要な会場計画にも 対応する座席レイアウト機能

NEW

座席セクションレイアウト DS

教室などの整列した座席が必要な場所から、コンサート会場などの大規模会場でも対応できる座席レイアウト機能を搭載しています。バージョン2017では、新しい「座席セクションレイアウトを作成」ダイアログを使って、縦横の配列、段差、角度や座席番号を柔軟に計画でき、データベース機能とも連動し、集計など、幅広い情報整理に役立ちます。



各種イベントに対応する イベント空間計画機能

NEW

イベント計画機能 DS

一つのメニューグループとして集約されているイベント計画を使用すると、会議室や教室から、コンサート会場や広大なフェス会場までのイベント空間をデザインすることができます。部屋、ステージ、階段、演台、スクリーン、座席の作成が一連で作業でき、バージョン2017では、スラブオブジェクトで部屋の床が生成されるため、スラブとしてさまざまな建築系機能が利用できるようになりました。

【イベント計画の主な機能】

- 2D図形から壁と床を生成できる部屋作成
- 2D図形から生成できるステージ作成
- 簡単に配置できる階段/演台作成
- 宴席/教室/劇場から選択できる座席作成



仕切りや人の流れの 制御にも役立つ、ボールツール

NEW

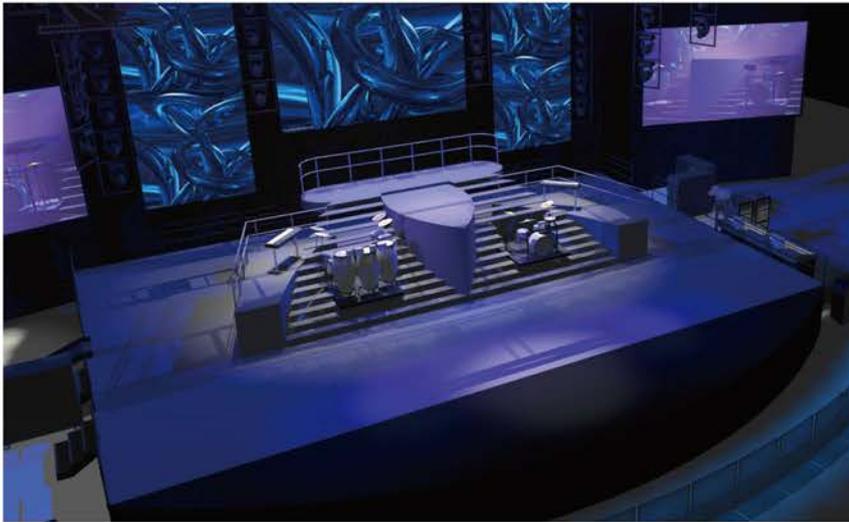
パーティションボールツール DS

バージョン2017には、新たに「パーティションボール」ツールが搭載され、ステージとの境界線や通路誘導から、ホテル玄関や宴会場などで利用できるボールを再現できます。さまざまな設定によって、高さやボール形状から各部のテクスチャまで指定できます。

あらゆるレイアウトにも対応できる ステージ作成機能

ポータブル&カスタムポータブルステージツール・ステージステップ&スロープツール **D S**

野外イベントや大型体育館などのイベント型ステージ設営などに役立つ機能が「ポータブルステージ」ツールをはじめとするステージ計画ツールです。サイズ変更も可能なさまざまな形状のステージが作成でき、脚や柵(手摺)も細かく設定できます。さらに、ステップやスロープなども作図できます。

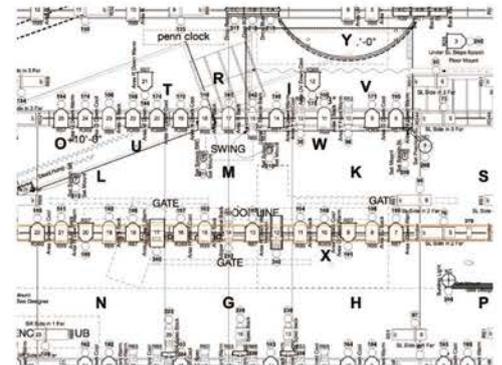


さまざまなシーンにも対応する 豊富な吊り元機能

NEW

吊り元ツール・照明パトン各ツール・
トラス各ツール・ホイストツール **D S**

照明器具をはじめとする器具の吊り元には、独自に作成したシンボル図形をはじめ、パイプやラダーのパトンツール、直線と曲線のトラスツールを搭載しています。さらにフックの荷重や電源、配線情報を設定できる「ホイスト」ツールも搭載。バージョン2017では、ケーブルピックホイスト機能やホイストを回転できる機能、ホイストを2車ホイストに指定できる機能が追加されました。



豊富でさまざまな機能を搭載する 照明器具機能

NEW

器具配置ツール・Lighting Device オブジェクト・フォーカス指定ツール **D S**

照明器具は、付属する豊富なライブラリデータやシンボル図形からでも作成でき、吊り元オブジェクトに設置できます。実際の器具と同様に光源情報やシャッターを設定でき、「フォーカス指定」ツールによって、フォーカスポイントを2D、3Dそれぞれで適切に表現できます。バージョン2017では、PRG製の照明器具が追加、Visionとの連携機能や照明器具ごとのフォーカスポイント角度や距離などの情報を表示する機能も追加されました。

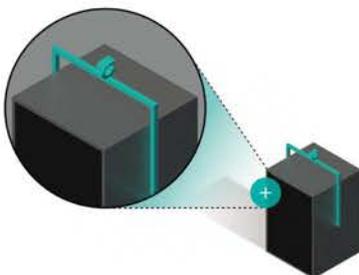


自立式からスピーカアレイまで 再現できるステージ音響機器機能

NEW

スピーカーツール・スピーカアレイツール **D S**

EAWやMeyer Sound、Atlas Sound、NEXOなど、豊富なスピーカータが付属。単一での配置に加えて、「スピーカアレイ」ツールを使って天吊り式や床置き設置形式の複合スピーカも作成できます。バージョン2017では、設置方式にヨークやグラウンド-スタック式が追加、天井埋め込み式のスピーカも再現できます。



ケーブルの配置や必要容量、 ネットワークを計画するケーブルシステム

NEW

電源/マルチ/ジャンパー/データ各ケーブルツール **D S**

電源をはじめ、さまざまなケーブル配置と使用されるケーブルタイプや電源情報を計画するための4種類のケーブルツールが、バージョン2017に搭載されました。スポットライトデザイナーが配線計画図面や部品を見積もり、現場に必要なケーブルの数と種類を事前に把握できるよう、計画できます。



セット設計、照明器具設置など、 さまざまに役立つサポート機能

NEW

寸法テープツール **D S**

バージョン2017には、セットの位置関係や照明器具の配置調整のための目安として役立つ「寸法テープ」ツールが搭載されました。通常の寸法図形とは異なり、参照図形として任意の距離を測り、一般的な図形と同様に移動させて、他の場所で参考にできます。

主な機能一覧

ベーステクノロジー

D A L S F

Parasolidモデリングカーネル	D A L S F
高速な描画テクノロジー (VGM)	D A L S F
CineRenderR16レンダリングエンジン	D A L S F

2D/3D 基本機能

D A L S F

線と面の2D汎用図機能	D A L S F
図形への色/影表現機能	D A L S F
充実した図形編集機能	D A L S F
2D/3D対応の文字、寸法図機能	D A L S F
イメージのトリミング/圧縮機能	D A L S F
データベース/表計算機能	D A L S F
フローティングデータバー	D A L S F
図面やモデルの一時ズーム機能	D A L S F
図形やモデルの一時透過機能	D A L S F
リソースの総合管理 (リソースマネージャ)	D A L S F
多彩なスナップ機能	D A L S F
シートレイヤービューポート機能	D A L S F
図面構造の集中管理 (オーガナイザ)	D A L S F
2D/3D対応の作業平面	D A L S F
多彩な3Dビュー機能	D A L S F
2D→3Dへのプッシュプルモード	D A L S F
ブーリアン演算機能	D A L S F
多彩な3Dモデリング機能	D A L S F
ウォークスルー機能	D A L S F
フライオーバー機能	D A L S F
3Dモデル断面表示 (クリップキューブ)	D A L S F
DXF/DWG/DWFの入出力サポート	D A L S F
バブリッシュ機能 (DXF/DWG/DWF)	D A L S F
バブリッシュ機能 (PDF/印刷/イメージ)	D A L S
豊富な3Dレンダリング機能	D A L S F
ビューポートレンダリング機能	D A L S F
バックグラウンドレンダリング機能	D A L S F
多機能で多彩な光源機能	D A L S F
背景放射光機能	D A L S F
背景テクスチャ/フィジカルスカイ機能	D A L S F

簡単にリアルな影表現機能	D A L S F
日時に対応する太陽光設定機能	D A L S
写真/3Dの合成機能 (Camera Match)	D A L S F
多彩なテクスチャ機能	D A L S F
芝生等のテクスチャ凹凸表現機能	D A L S F
3Dハッチング機能	D A L S F
3D植栽オブジェクト (VBビジュアルプラント)	D A L S F
Cinema 4Dとの連携機能	D A L S F

建築・内装設計機能

D A L S F

スペース作成機能 (空間定義)	D A
建築部材のワークシート集計機能	D A
ストーリー (階高) 管理機能	D A
構造材作成機能	D A
柱/ピラスター作成機能	D A
壁作成機能	D A L S F
壁スタイル登録 (壁の構成要素)	D A L S
カーテンウォール作成機能	D A L S
スラブ作成機能	D A L S
スラブの排水勾配作成機能	D A L S
屋根作成機能	D A L S F
屋根スタイル登録 (屋根の構成要素)	D A L S
ドア・窓作成機能	D A L S
手摺・フェンス作成機能	D A L
カスタムキャビネット作成機能	D A L S F
2D平面の回転機能	D A L S
統合ビュー機能	D A L S F
デザインレイヤーの切断高設定機能	D A
外壁一括採寸機能	D A L S
レベル横断面表現機能	D A L
投影図ビューポート機能	D A L S
室内展開図ビューポート機能	D A
断面ビューポート機能	D A L S
クリップキューブ断面図作成機能	D A L S
詳細ビューポート機能	D A L S
ビューポートのデータ可視化機能	D A L S

Webビュー (VR) 機能	D A L S
Vectorworks Cloud Services	D A L S F
クラウド対応プロジェクト共有機能	D A L S
Revitファイルの入力サポート	D A L S
IFCファイルの入出力サポート	D A L S
BCFファイルのチェック機能	D A L S
2D-PDFの入出力サポート	D A L S
3D-PDFの出力サポート	D A L S
点群データの入力サポート	D A L S

土木造園・都市計画機能

D A L S F

GIS機能	D A L
地形モデル作成機能	D A L
地形モデル上の造成機能	D A L
ランドスケープエリア作成機能	D L
灌漑設備計画機能	D L
道路・ガードレール作成機能	D A L
舗床作成機能	D L
豊富な舗床/敷石ハッチングライブラリ	D L
多機能の植栽ツール機能	D L
植栽イメージ・植栽添景ライブラリ	D L

ステージ&ライティング計画機能

D A L S F

イベント空間計画機能	D S
柔軟な座席レイアウト機能	D S
パーティションボール作成機能	D S
多彩なステージ作成機能	D S
ステップ/スロープ作成機能	D S
レイアウトをサポートする寸法テーパー機能	D S
柔軟な吊り元作成機能	D S
トラス/ホイス作図機能	D S
照明器具データ・配置機能	D S
豊富なブランド照明器具データライブラリ	D S
スピーカー配置計画機能	D S
豊富なブランドスピーカーデータライブラリ	D S
ケーブルシステム作図機能	D S

ファイル互換一覧

D A L S F

	D	A	L	S	F	
インポート	DXF / DWG (R2.5~2017) / DWF (4.2, 5.5, 6.0) / EPSF (v1.6) / イメージファイル (BMP,GIF,JPG,JPEG,JP2,PNG,TIFF,ICO,[Windowsのみ:WDP,DDS,EMF],[Macのみ:SGI,TGA,EXR,PSD,ICNS,MAC,PCT]) / ワークシート (TXT,CSV,DIF,SLK) / スクリプト (TXT,PY,PYC,VSS,VS,XXT,MPC) / IGES (IGS,IGES) / OBJ / ACIS (SAT) / STEP (STP,STEP) / STL / Rhino (3DM) / Parasolid (X_Tv9~29) / HDRI (HDR,EXR) / Distributionファイル (IES) / Cinema 4Dテクスチャ (C4D) / MCD (v7~12) / VWX (v2008~2016)	D	A	L	S	F
	Revit (RVT,RFA) / IFC,IFCXML,IFCZIP (2X2,2X3,4) / PDF (v1.4) / 3DS / SketchUp (SKP) / 点群 (LAZ,LAS,PTS,E57,XYZ)	D	A	L	S	
	Shape (SHP) / 座標データ (TXT,CSV)	D	A	L		
	隣接マトリックス (CSV) / BCF (BCFZIP)	D	A			
	ジオリファレンスイメージ (BPW,J6W,PGW,TFW,GFW,WLD,ECW)	D		L		
照明器具情報 (Lightwright5)	D			S		
エクスポート	DXF / DWG (R12~2017)/DWF (4.2, 5.5, 6.0) / EPSF (v1.6) / イメージファイル (BMP,GIF,JPG,JPEG,PNG,TIFF[Windowsのみ:WDP,DDS,EMF],[Macのみ:JP2,TGA,EXR,PSD]) / スクリプト (TXT,PY,VSS,VS) / ワークシート・データベース (TXT,CSV,DIF,SLK) / IGES (IGSv5.3) / OBJ / ACIS (SAT) / STEP (STP) / STL / Rhino (3DM) / Parasolid (X_Tv9~29) / Cinema 4D (C4D) / COLLADA (DAE) / FBX / アニメーション (MOV) / HDRI (HDR) / VWX (v2012~2016)	D	A	L	S	F
	IFC,IFCXML,IFCZIP (2X2,2X3,4) / PDF (v1.7) / 3D-PDF (v1.7) / 地理空間情報 (KML) / 3DS / Webビュー (HTML) / DOE-2 (INP)	D	A	L	S	
	ジオリファレンスイメージ (BPW,J6W,PGW,TFW,GFW,WLD)	D	A	L		
	BCF (BCFZIP) / gbXML (XML)	D	A			
	Shape (SHP)	D		L		
照明器具情報 (Lightwright5) / Vision (ESC)	D			S		

VECTORWORKS® 2017 スタンドアロン版


D Designer

A Architect

L Landmark

S Spotlight

F Fundamentals

推奨動作環境

お使いのパソコンが以下の条件を満たしているかご確認ください。条件を満たしていない場合、Vectorworks 2017が正常に起動しない場合があります。Vectorworks 2017を快適にご使用いただくために条件を満たしたパソコンでご使用になることを強くお勧めします。

スタンドアロン版		
	Windows	Mac
OS	Windows 10 (64bit) Windows 8/8.1 (64bit) Windows 7 SP 1 (64bit) ※32bit OSには対応しておりません。	Mac OS X 10.11 (El Capitan) Mac OS X 10.10 (Yosemite)
	最新のOS対応状況については、ホームページ(http://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html)をご確認ください。	
CPU	Intel Core i5 以上	
メモリ	推奨8GB以上(最小4GB)、大きなファイルや複雑なレンダリングには8~16GBを推奨 ※CPU内蔵グラフィックスの場合、VRAMをメインメモリから取得します。VRAMの使用分を考慮してメモリを搭載してください。	
画面解像度	推奨1920 x 1080以上(最小1440 x 900) ※4Kディスプレイ対応	推奨1920 x 1080以上(最小1440 x 900) ※Retinaディスプレイ対応
グラフィックス	<ul style="list-style-type: none"> 以下の条件を満たすグラフィックスコントローラが必要 <ul style="list-style-type: none"> -VRAM(ビデオメモリ) 推奨2~4GB(最小1GB) -OpenGL2.1対応 グラフィックスボード、または単体グラフィックスを推奨 <ul style="list-style-type: none"> ※ CPU内蔵グラフィックスの場合、Iris、Iris Proを推奨。 Intel HD Graphicsでは正常に動作しない場合があります。 ※ 詳細は各パソコンメーカー、販売店等へお問い合わせください。 ※ ドライバは最新にアップデートしてご使用ください。 ※ NVIDIA NVSシリーズは、動作対象外です。 	<ul style="list-style-type: none"> 以下の条件を満たすグラフィックスコントローラが必要 <ul style="list-style-type: none"> -VRAM(ビデオメモリ) 推奨2~4GB(最小1GB) -OpenGL2.1対応 グラフィックスボード、または単体グラフィックスを推奨 <ul style="list-style-type: none"> ※ CPU内蔵グラフィックスの場合、Iris、Iris Proを推奨。 Intel HD Graphicsでは正常に動作しない場合があります。 ※ 詳細は各パソコンメーカー、販売店等へお問い合わせください。 ※ ドライバは最新にアップデートしてご使用ください。
インストール可能台数	<ul style="list-style-type: none"> 製品版は1ライセンスで1ユーザーが使用している2台のパソコンにインストールできます。ただし同時起動はできません。 ※起動にはアクティベーションが必要です。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ハードディスク空容量:27GB(オプションライブラリ22GBを含む) インターネット接続環境が必須(インストール/アクティベーション/各機能) PDF閲覧のためのPDF閲覧ソフト 	<ul style="list-style-type: none"> ヘルプ閲覧のためのブラウザ ※クロスプラットフォームライセンスです。(Windows、Macどちらかでご使用いただけます。) ※ご使用にあたり製品のユーザ登録が必須です。

※より高速なCPUの使用とメモリ追加によってVectorworks製品の操作性が向上します。※Vectorworks製品を導入する前にご使用のパソコン上で正常に動作するか評価版を使用して確認することをお勧めします。右記のURLから評価版をダウンロードすることができます。<http://www.aanda.co.jp/ct/download.html> ※最新の情報は、右記のURLでご確認ください。<http://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html>

価格

	Designer	Architect	Landmark	Spotlight	Fundamentals
スタンドアロン版	¥ 527,000 (税別)	¥ 416,000 (税別)	¥ 416,000 (税別)	¥ 416,000 (税別)	¥ 305,000 (税別)

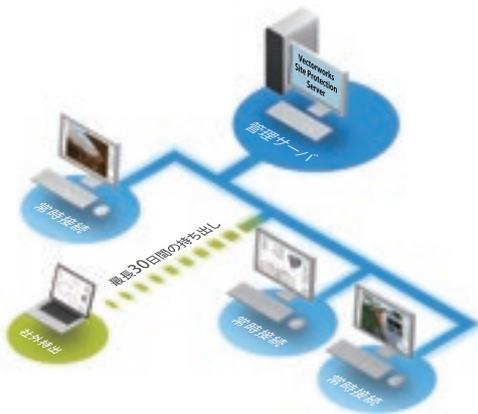
スタンドアロン版モジュール追加					
Architectモジュール	F → A	¥ 111,000 (税別)	Designerモジュール	F → D	¥ 222,000 (税別)
Landmarkモジュール	F → L	¥ 111,000 (税別)		A → D	¥ 111,000 (税別)
Spotlightモジュール	F → S	¥ 111,000 (税別)		L → D	¥ 111,000 (税別)
				S → D	¥ 111,000 (税別)

VECTORWORKS® 2017 サイトプロテクションネットワーク版



「Vectorworks 2017 サイトプロテクションネットワーク版」は、サーバ/クライアント形式でライセンスを管理し、クライアントにインストールされたVectorworks 2017を利用するネットワーク製品です。

サーバ側で、同時に使用できるクライアントライセンス数を管理します。このため、必要な時だけ、サーバからライセンスを取得してVectorworks 2017を起動することができます。さらに、「ライセンス持ち出し」機能によって「最長30日間のネットワーク外への持ち出し利用」が可能。外出/出張時や現場事務所などでもVectorworks 2017を使用できます。



● 主な特長

特長 1 同時稼働台数のみで済むライセンス購入数、かつ安価な導入価格

特長 2 同一ネットワーク内から持ち出しでの利用が可能 (最長30日間)

特長 3 Webブラウザを利用した細かなサーバ管理 ※画面は英語表記となります。

特長 4 デバッグ/レポートログ出力によるライセンス利用状況の分析の実現

(ライセンス管理ソフトウェアの特長)

- ・特定の個人分のライセンス確保を事前に行うリザーブ機能
- ・特定の個人の接続を強制切断できるリムーブ機能
- ・個人ごとに事前予約できるモジュール別使用許可設定
- ・グループごとに事前予約できるモジュール別使用許可設定
- ・「ライセンス持ち出し」可能なライセンス数を管理
- ・製品ごとの「ライセンス持ち出し」可否を管理

推奨動作環境 お使いのパソコンが以下の条件を満たしているかご確認ください。条件を満たしていない場合、Vectorworks 2017が正常に起動しない場合があります。Vectorworks 2017を快適にご使用いただくために条件を満たしたパソコンでご使用になることを強くお勧めします。

Vectorworks クライアント	
動作環境	Vectorworks 2017 スタンドアロン版の動作環境に準じます。
スタンドアロン版との差異	アクティベーションは行いません。

Vectorworks Site Protection Server (ライセンス管理ソフトウェア)		
	Windows	Mac
OS	Windows 10(32bit/64bit) Windows 8/8.1(32bit/64bit) Windows 7(32bit/64bit) Windows Server 2012 R2(64bit) Windows Server 2012(64bit) Windows Server 2008 R2(64bit) Windows Server 2008(32bit/64bit)	Mac OS X 10.11 (El Capitan) Mac OS X 10.10 (Yosemite) Mac OS X 10.9 (Mavericks) Mac OS X 10.8 (Mountain Lion) Mac OS X 10.7.5以上 (Lion) Mac OS X 10.11 Server (El Capitan Server) Mac OS X 10.10 Server (Yosemite Server) Mac OS X 10.9 Server (Mavericks Server) Mac OS X 10.8 Server (Mountain Lion Server) Mac OS X 10.7 Server (Lion Server)
CPU	Intel Core 2 Duo 以上	
メモリ	256MB 以上	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードディスク容量 (Windows : 40MB 以上、Mac : 10MB 以上) ・100Mbps 以上の速度のネットワーク回線 ・TCP/IP プロトコル (必須) ・サーバ/クライアント型のネットワーク環境、またはそれに準じたネットワークが整備された環境 ・サーバ専用パソコンが必要 ・DVDドライブ (必須) ・ドングル用 USB ポート (必須) 	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバアプリケーション管理のためのブラウザ (必須) ・対応クライアントアプリケーション <ul style="list-style-type: none"> -Vectorworks 2017 サイトプロテクションネットワーク版 -Vectorworks 2016 サイトプロテクションネットワーク版 -Vectorworks 2015 サイトプロテクションネットワーク版 -Vectorworks 2014 ネットワーク版 シリーズG <p>※サーバ管理画面は英語表記となります。 ※サーバとクライアントは同一ネットワーク上で使用してください。</p>

価格

サイトプロテクションネットワーク版 / 同モジュール					
Fundamentals	基本パッケージ (2ライセンス同梱)	¥ 550,000 (税別)	Designer モジュール	¥ 200,000 (税別)	
	追加ライセンス単価: 3 ~ 10 本	¥ 255,000 (税別)		Architect モジュール	¥ 100,000 (税別)
	追加ライセンス単価: 11 ~ 20 本	¥ 228,000 (税別)	Landmark モジュール		¥ 100,000 (税別)
	追加ライセンス単価: 21 ~ 30 本	¥ 206,000 (税別)			Spotlight モジュール
	追加ライセンス単価: 31 ~ 40 本	¥ 192,000 (税別)	Spotlight モジュール	¥ 100,000 (税別)	
	追加ライセンス単価: 41 ~ 50 本	¥ 177,000 (税別)		Spotlight モジュール	

※ Fundamentals サイトプロテクションネットワーク版 追加ライセンスを51本以上、ご希望の場合は、営業部までお問い合わせください。



VECTORWORKS® SERVICE SELECT

Vectorworks 年間契約型のプレミアムサービス

(Left) Courtesy of HAMONIC+MASSON & ASSOCIÉS. (Right) Courtesy of MCGREGOR COXALL.
(Center) Lighting Design by NICK WHITEHOUSE, ILLUMINATE ENTERTAINMENT, INC./Photo Courtesy of RALPH LARMANN.



クラウドサービス



クラウドで、Vectorworks 2017をさらに拡張。

契約期間中、契約者専用機能を含んだVectorworks Cloud Services(以下、Cloud Services)をはじめ、Vectorworks 2017契約製品から直接、各種サービスを利用できます。主な契約者専用提供サービスは以下の通りです。

Vectorworks Cloud Services

- ・20GBのクラウドストレージ容量(非契約者は2GB)
- ・シートレイヤ3Dビューポートのクラウドレンダリング&PDF化
- ・シートレイヤ図面のクラウドPDF化

Vectorworks 2017各契約製品

- ・「リソースマネージャ」でのサブスクリプションライブラリ利用
- ・「パブリッシュ」からのCloud Services/Dropbox出力



ソフトウェアアップデート



常に最新のバージョンを。

ソフトウェアの最新アップデートを提供します。契約期間中にメジャーバージョンアップが行われた場合、新バージョンを無償で提供。お客様自身でのお手続きは一切必要ありません。

新バージョンがリリースされると、提供開始のご案内と共に、専用ポータルサイトからインストールプログラムとライセンス番号をダウンロード入手でき、ダウンロード直後から、すぐに最新の機能を利用できます。

- ※ 提供開始時期は、製品の発売開始以降となる場合があります。
- ※ 契約製品によっては、パッケージでの郵送提供となる場合があります。
- ※ 契約満了時に更新を行わなかった場合、プログラム提供は停止します。

プレミアムTechサポート



長時間TELサポート&Liveサポート。

一般サポート(登録から30日間)とは異なり、契約期間中のサポートを提供します。契約者専用電話番号で受付時間は、一般サポートより1時間半長い9:30から17:00*まで。繋がりがやすい電話サポートを提供します。さらに、インターネット経由でお客様の画面を見ながらサポートする「インターネットLiveサポート」も提供します。

※ 12:00から13:00間は、受付休止時間です。



その他のサービス

- プラグインソフトの一部無償提供
Jw_cadとのファイル互換を実現する「A&A JWコンバータ」をはじめ、役立つVectorworksプラグインソフトを提供します。
(最新の提供ソフト情報は、ホームページにてご確認ください)
- バージョンアップ前製品(下位3バージョン)の使用許諾
バージョンアップ前のVectorworks旧バージョンの利用が許諾されます。

ポータルサイト



スキルアップも追加データも限定提供。

契約者専用ポータルサイトを通じて、自己学習のための新機能紹介やテクニックビデオを視聴でき、関連する演習データやテキストを入手できます。さらに、家具や設備機器などのシンボルデータから、添景、テクスチャなどの各種リソースデータまで、製品には付属されないサブスクリプションライブラリが提供されます。



トレーニング



お得なリアル&Webセミナー。

A&A本社セミナールームで開催する「リアル定例セミナー」をはじめ、全国どこからでも参加可能な「Web定例セミナー」、お客様専用カリキュラムを作成して、お客様先にて開催するオーダーメイドの「カスタマイズセミナー(リアル開催)」、いずれも一般価格の半額でご利用いただけます。



- お問い合わせ先
A&Aカスタマーサービスデスク：
【電話番号：03-3518-0123】※土日、祝日を除く
【メールアドレス：vss@aanda.co.jp】
- 詳しい情報/契約料金/申し込み方法
契約料金をはじめ、より詳しい情報は、ホームページをご覧ください。
【ホームページ：http://www.aanda.co.jp/VSS/】



TRANSFORM THE WORLD
DESIGN WITH VECTORWORKS

A&A

エーアンドエー株式会社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-15
www.aanda.co.jp

製品に関するお問い合わせ
エーアンドエー営業部 market@aanda.co.jp
(tel.03-3518-0131) 土、日、祝日を除く

A&Aストア
www.aanda.co.jp/store/

お問い合わせは

Vectorworks, RenderworksとMiniCADはVectorworks,Inc.の登録商標、SmartCursorとVectorScriptはVectorworks,Inc.の商標です。その他すべての権利はVectorworks,Inc.が保有しています。Microsoft、およびWindowsは米国ならびに他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。Macintosh、およびMacはApple,Inc.の商標です。Adobe、Adobe PDF、Acrobat、Adobe PDFロゴ、DistillerおよびReaderは、Adobe Systems Incorporatedの米国、およびその他の国における登録商標または商標です。Google、およびGoogle EarthはGoogle Inc.の登録商標、または商標です。Revitは米国およびその他の国々における、Autodesk, Inc.の子会社、関連会社の登録商標または商標です。ParasolidはSiemens PLM Software Inc.の登録商標です。Cinema 4DはMAXON Computer GmbH, MAXON Computer Inc.およびMAXON Computer Ltd.の登録商標です。QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。その他記載されている会社名、および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。カタログ上で使用しているイメージはVectorworks Designerを使用し、一部、画像処理を行っているものが含まれています。製品の仕様は予告なく変更することがあります。

Copyright A&A Co., Ltd. and its licensors. All rights reserved. Printed in Japan. 161209 IMP.